



問題

- 1 早期再分極でしばしば観察される波形の形は？**
  - a) ウサギ耳型
  - b) サドルバック型
  - c) フィッシュフックパターン
  - d) デルタ波
- 2 サドルバック型ブルガダ波形に関する記述で正しいのは？**
  - a) それだけでブルガダ症候群と診断される
  - b) aVR誘導に出現する
  - c) コーブド型への変化を確認する必要がある
  - d) 明確な陰性T波を伴う
- 3 コーブド型ST上昇の形状として適切なものは？**
  - a) 上に凸の鋭角的な形
  - b) 下に凸のゆるやかな曲線
  - c) 凸凹のサドル型
  - d) 入り江状の丸いカーブ
- 4 ブルガダ波形を強調するために実施すべき操作は？**
  - a) V1とV2の電極を1肋間下へ移動
  - b) V1とV2の電極を1肋間上へ移動
  - c) aVRにリード追加
  - d) 高周波フィルターを下げる
- 5 たこつぼ型心筋症の特徴は？**
  - a) 下に凸のST上昇
  - b) ST上昇がV1から出現しないこと
  - c) PR低下があること
  - d) コーブド型ST上昇であること
- 6 ST上昇において鏡面現象（レシプロカルチェンジ）が診断に重要となるのは？**
  - a) 早期再分極
  - b) 急性心筋梗塞
  - c) 心膜炎
  - d) たこつぼ型心筋症
- 7 コーブド型のST上昇が認められ、突然死の既往がある場合に考えるべき疾患は？**
  - a) WPW症候群
  - b) 心膜炎
  - c) ブルガダ症候群
  - d) 心房粗動
- 8 心電図でST上昇を認めた際、ブルガダ症候群と早期再分極の鑑別に有用な所見はどれか？**
  - a) ST上昇が下に凸か上に凸かの形状
  - b) QRS波の振幅
  - c) aVR誘導のST変化
  - d) T波の高さ
- 9 ブルガダ症候群の診断確定のために必須の心電図所見は？**
  - a) V2誘導のサドルバック型
  - b) V1誘導のデルタ波
  - c) V1～V2でのコーブド型ST上昇
  - d) V5での高電位R波
- 10 以下のST上昇所見のうち、最も緊急性が高く治療介入を急ぐべきものは？**
  - a) V2～V5でのJ点上昇と高いT波、J波あり
  - b) V1～V2でコーブド型ST上昇と陰性T波
  - c) II, III, aVFでST上昇、I, aVLでST低下
  - d) V1～V2でサドルバック型ST上昇